

## 決算に関する特別委員会で 平成30年度決算を認定

平成30年度一般会計歳入歳出決算ほか3特別会計歳入歳出決算については、監査委員を除く全議員で構成される決算に関する特別委員会（委員長＝明戸真弓美、副委員長＝斉藤邦子）を設置しました。9月19日から審査を行い、いずれも特別委員会において認定することに決定しました。



◀委員長挨拶の様子

## 委員会での審査経過

9月19日

### ・一般会計歳入歳出決算

- 監査委員意見（並木一元監査委員）
- 決算の概況説明（副区長）
- 主要施策の成果説明（副区長）
- 総括質疑（9会派）  
※主な質問項目は別掲
- 歳出審査（議会費・総務費）

9月20日

- 歳出審査（総務費）

9月25日

- 歳出審査（総務費）

9月26日

- 歳出審査（総務費・民生費）

9月30日

- 歳出審査（民生費・衛生費）

10月1日

- 歳出審査（衛生費・環境清掃費・産業経済費・土木費）

10月3日

- 歳出審査（土木費・教育費・公債費・諸支出費・予備費）

- 歳入審査（一括審査）

- 採決 採決の結果  
認定することに決定

### ・国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

### ・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

### ・介護保険事業特別会計歳入歳出決算

- 審査

- 採決 採決の結果  
認定することに決定

## 監査委員による決算審査の報告

平成30年度決算審査は、関係諸帳簿及び証拠書類との照合を行うとともに、関係職員から説明を聴取するなどの方法により実施しました。その結果、決算計数に誤りはなく、各会計の決算内容、予算の執行状況等も適正と認められ、その旨の審査意見を区長あてに提出いたしました。

また、財政健全化法による「平成30年度決算に基づく健全化判断比率」についても、審査の結果、適正である旨の意見を、区長あてに提出しましたことを、あわせて報告いたします。

区は、国の税制改革による懸念や、老朽化した社会資本の更新による大きな財政需要が今後見込まれるなど、財政環境の先行きが楽観視できない状

況にありながらも、実質収支は黒字であり、基金残高、地方債残高の内容などからも、健全な財政運営に努めていると評価できます。

しかしながら、今後の財政需要を概観すると、公共施設等の更新や、今後の事業に多額な費用がかかることが想定されます。

今後とも、収入未済額の減少や、特別区民税の収納率の更なる向上など、歳入の確保に努めるとともに、効率的・効果的な事務事業の推進に、これまで以上に力を入れて取り組み、歳入・歳出の両面から健全な財政運営に向けて確実に前進されることを期待いたします。

以上、報告とさせていただきます。

# 平成30年度 決算の概要

		予算現額	歳入（収入率）	歳出（執行率）	歳入歳出差引 残 高
一 般 会 計		1,032億6,811万4,000円	960億6,054万 275円 (93.0%)	932億2,807万 936円 (90.3%)	28億3,246万9,339円
特 別 会 計	国民健康保険 事 業	265億1,953万円	239億3,088万3,239円 (90.2%)	236億5,895万1,059円 (89.2%)	2億7,193万2,180円
	後 期 高 齢 者 医 療	49億1,100万円	46億2,982万6,578円 (94.3%)	45億8,995万1,147円 (93.5%)	3,987万5,431円
	介 護 保 険 事 業	170億9,090万1,000円	168億7,513万9,645円 (98.7%)	164億2,514万7,180円 (96.1%)	4億4,999万2,465円

## 平成30年度 荒川区主要施策の成果説明 (一部抜粋・要旨)

### 生涯健康都市

#### ○手話言語条例の制定

聴覚障がい者の大切なコミュニケーション手段である手話を、言語として位置付けた。また、条例制定を記念したイベントの開催などにより周知を図り手話を使った社会参加の促進を支援した。

### 子育て教育都市

#### ○区立児童相談所設置に向けた取り組みの推進

令和2年度の区立児童相談所の設置に向け、30年度は都や特別区間の連携体制を確保し、施設の建築工事に着手したほか、先駆的な取組を実施している児童相談所への職員派遣や経験豊富な職員の採用等により、職員体制の充実・強化を図った。

### 産業革新都市

#### ○区内での創業支援の強化

ビジネスプランの作成、販路開拓、収支計画の立案等をテーマにした、実践的な創業セミナーを新たに実施することで、意欲的な起業家を発掘した。

### 環境先進都市

#### ○環境学習・啓発の充実

夏休みのエコ教室や、エコセンター内の農園を活用した講座等を充実させ、身近なところから環境問題を考える機会を提供する普及啓発事業を実施した。メ

ンバー制の連続講座「あらかわエコジュニアクラブ」にて、体系的に環境学習できる機会を提供した。

### 文化創造都市

#### ○俳句文化の振興

「松尾芭蕉奥の細道旅立ち330年」を記念したリーフレットや「俳句のまちあらかわ」に関するPRグッズの作成・配布を行うなど、区の俳句文化を区内外に強く発信した。

### 安全安心都市

#### ○高齢者世帯等への感震ブレーカーの普及促進

発災時に避難することが難しい高齢者のみ世帯・障がい者がいる世帯・住民税非課税世帯を対象として、「感震ブレーカー」および「自動点灯ライト」を無料配付するとともに、在宅高齢者の安全・安心を守るための各種助成事業をまとめたパンフレットの作成・配布を行った。

### 計画推進のために

#### ○タブレット端末を活用した窓口サービス等充実

区内在住の外国人が、より快適な窓口サービス等を受けられるよう、窓口にはタブレット端末を設置し、画面を通じてオペレーターが対面で通訳を行い、職員が迅速かつ的確な行政サービスを提供できるようになった。